

市田柿の盗難に注意！！

6月頃から、近県で子牛や豚等の窃盗事件が発生しています。また、県内でも9月に収穫期を迎えた「ぶどう」で盗難被害が発生しており、昨年、市田柿の盗難も報告されています。

本格的な市田柿の収穫時期を迎え、盗難被害に遭わないよう、保管・管理に気を付けましょう！

防犯のポイント

- ① 収穫した柿は畑等に放置せず持ち帰る。
- ② ハウスや保管庫等については、窓や出入り口に施錠する。
- ③ 収穫用コンテナや脚立等は、盗難に利用されないよう園地からこまめに撤収する。
- ④ 防犯カメラ、センサーライト等を設置する。
- ⑤ 外部の通行人から見える園地や柿干し場等の周辺に「盗難防止警戒中」「防犯カメラ作動中」等の看板等を設置する。
- ⑥ 不審者・不審車両を見かけた際や被害が判明したときは、速やかに警察署に通報する。

以上のポイントを参考に防犯対策を行って盗難を防ぎましょう。

農作物の盗難防止対策の効果

農林水産省の調査では、対策を講じたことによって、盗難が減った、効果があるとの回答が約半数あり、対策の重要性が確認されています。